特　集

情報処理研究部の今後の方向

Ⅰ　情報処理研究部全般に関して

１．令和４年度出題範囲改訂について

以前からお伝えしている通り，令和４年度からの学習指導要領改訂に合わせて情報処理検定試験も改訂をします。

（１）問題構成について

ビジネス情報部門　第１級

現行	令和４年度から
【1】【2】【3】：関連用語，計算 【4】：関連知識 【5】：データベース（SQL） 【6】：表計算（基礎） 【7】：表計算（応用）	【1】【2】【3】：関連用語，計算 【4】：関連知識 【5】：データベース（SQL） 【6】：表計算（基礎） 【7】：表計算（応用）

ビジネス情報部門　第２級

現行	令和４年度から
【1】【2】【3】：関連用語，計算 【4】：データベース（SQL） 【5】：表計算（基礎） 【6】：表計算（応用） 実　技：表計算（応用）	【1】【2】【3】：関連用語，計算 【4】：データベース（SQL） 【5】：表計算（基礎） 【6】：表計算（応用） 実　技：表計算（応用）

部門共通　第３級

現行	令和４年度から
【1】【2】【3】：関連用語，計算 【4】：表計算（基礎） 【5】：表計算（応用） 実　技：表計算（応用）	【1】【2】【3】：関連用語，計算 【4】：表計算（基礎） 【5】：表計算（基礎） 【6】：流れ図（トレース） 【7】：表計算（応用） 実　技：表計算（応用）

プログラミング部門　第１級

現行	令和４年度から
【1】【2】【3】：関連用語，計算 【4】：流れ図（基礎） 【5】：流れ図（基礎） 【6】：流れ図（応用） 【7】：言語選択（Java，マクロ言語）	【1】【2】【3】：関連用語，計算 【4】：マクロ言語（基礎） 【5】：流れ図（基礎） 【6】：流れ図（応用） 【7】：流れ図（応用，解答群多数）

プログラミング部門　第２級

現行	令和４年度から
【1】【2】【3】：関連用語，計算 【4】：流れ図（トレース） 【5】：流れ図（基礎） 【6】：流れ図（応用） 【7】：言語選択（Java，マクロ言語）	【1】【2】【3】：関連用語，計算 【4】：マクロ言語（トレース） 【5】：流れ図（基礎） 【6】：流れ図（応用） 【7】：流れ図（応用，解答群多数）

出題形式については以上の通りとなります。この後に掲載したサンプル問題はすべての級の問題となっています。十分に検討して頂きたいと思います。前号の情報教育に掲載したものからの変更点は，３級の流れ図の出題を【４】から【６】に変更しました。

また，新検定基準についても十分に検討をしてください。サンプル問題に新用語の問題も数問入れてあります。

（２）改訂に関する今後のスケジュールについて

令和３年３月　出題範囲の決定，検定問題サンプルを発表（本稿）

令和４年度　67 回（９月）から全ての級で新範囲により出題開始

２．情報処理競技大会について

今年度（令和２年度）の情報処理競技大会は新型コロナウイルスの影響により中止となりました。令和３年度は感染拡大防止に最大限の注意を払い，規模を縮小して実施するよう計画を立てています。大会要項にもありますが，具体的には主に，

・応援生徒及び見学者の参加，来場は不可。
・競技会場内は選手及び運営委員以外の立入禁止。
・引率教員は１校あたり最大２名。
・昼食はなしとし，競技終了後解散。
・閉会式は行わず，結果はホームページでの発表。
・賞状，賞品は後日発送。

となっております。帰りのバス停では混雑が予想されます。誘導を立てる予定でおりますがディスタンスを取るなどご協力の程，よろしくお願いいたします。

また，それとは別に参加規程及び賞品が各種競技大会で統一されました。情報処理競技大会として今までとの差異を次に挙げます。

・代表校１校あたり３名＋１名の補欠登録。（今までは４名出場で上位３名の合計得点で競技。）
・前年度優勝校の優先出場の廃止。
・団体表彰で授与していたメダルが４名分から３名分になります。
・団体表彰で授与していなかった４位～10 位までの選手（３名分）にもメダルが授与されます。
・個人表彰で佳良賞として授与していた 40 位までの楯が 30 位までとなります。

３．プログラミングコンテストについて

こちらも前述の規程の統一により変更になった点があります。要項にもありますが，

・努力賞の名称が奨励賞へ変更となりました。
・今まで示していなかった各賞の数を示し，奨励賞の具体的な選考基準を明記しました。
・副賞の図書カードは廃止となりました。

４．全商 Web の活用について

情報処理研究部では「全商 Web」を利用し，過去の検定問題など，検定試験に関する情報の共有を今後も行います。情報処理検定についての最新情報は，まず「全商 Web」で提示し，その後「全国情報処理教育研究協議会」や「情報教育」で具体的な方向性を示していきます。定期的に全商 Web を閲覧することによる情報の取得,「情報教育」による詳細な情報の確認を引き続きお願いします。

５．公正，公平な試験の実施についてお願い

検定試験実施後にTwitterなどのSNSを検索すると，検定当日にも関わらず１級の問題を持っているという書き込みが見られました。試験終了後の問題回収は徹底してください。特にビジネス情報部門２級，部門共通３級では実技試験があり，ＰＣ室の数の関係からローテーションで受験せざるを得ない学校もあります。１級に至っては推薦の条件としている大学などもあります。問題漏えいとなった場合，検定試験の信頼性の根幹を揺るがす問題となり得ます。

また，真偽の程は確認出来ませんが,「配られた問題が再利用だったみたいで前の受験生の答えが問題に書いてあったからそれを書き写した。」というような書き込みもありました。それとは別に「昨年の問題を配ってしまったので時間をずらして改めて実施した。」とご報告を頂いた学校もあります。

問題の取り扱いには最大限の注意を払って頂き，公正，公平な検定試験の実施を改めてお願い申し上げます。

Ⅱ　ビジネス情報部門に関して

１．表計算問題の動作検証ソフトについて

令和２年度（2020 年度）から動作検証は Excel2013 で行う予定でおりましたが，Excel2010 のサポート終了が 2020 年 10 月 13 日でもあることから，今年度も動作検証は Excel2010 により行いました。令和３年度（2021 年度）からは，動作検証は，Excel2013 で行います。なお，Excel2013 のサポート終了は，2023 年４月 11 日と予定されております。

２．新検定基準について

全般でもございましたが，新検定基準について，十分なご検討をお願いします。特に大きなところは，共通第３級に，流れ図による「トレース」が加わるところです。

新検定基準の周知，ご準備をよろしくお願いします。

Ⅲ　プログラミング部門に関して

１．令和３年度の出題について

令和４年度からの出題範囲改訂に向けて，令和３年度の作問については，これまでの検定方針に沿った難易度を維持していきたいと考えております。生徒へのご指導をよろしくお願いします。

２．令和４年度からの出題範囲改訂について

令和４年度からは出題範囲と問題形式が変更となります。問題形式につきましては，以下に示す内容と，サンプル出題例をご確認ください。

（１）第１級【４】

これまで流れ図により出題してきましたが，マクロ言語による出題に変更となります。なお，現行の流れ図による出題と同様に，基礎的なアルゴリズムを問う出題となります。サンプル出題例に提示いたしましたので，ご確認ください。

（２）第２級【４】

これまで流れ図により出題してきましたが，マクロ言語による出題に変更となります。なお，現行の流れ図による出題と同様に，トレースによる変数の値や通過回数などを問う出題などを行います。

（３）第１級，第２級【７】

Javaとマクロ言語の選択問題から，流れ図の共通問題に変更されることにともない，解答群多数の出題となります。複数解答の問題については，⑴や⑵などの問題番号は流れ図部品の外側に出し，❶，❷を用いることで表示することにします。サンプル出題例に提示いたしましたので，ご確認いただきご意見ください。

なお，いずれの級においても問題形式の変更にともなう難易度の変更はいたしません。